

## 自然環境観察情報員プロジェクト

～重点プロジェクト1 育てよう、いろんな生物がいる自然！～

自然を守り、多様な生き物が**生息・生育**できる豊かな自然と共生する環境づくりをめざすために、年間を通じて身近な**植物や生物**の状況調査を行い、西東京市の自然環境を把握する。市民が日頃から自然に目を向ける機会を創出し、身近な自然環境への関心を高める。

### 1 参加者

公募による自然観察情報員。参加は随時可能とする。

### 2 実施内容

- ・自然観察情報員は、身近な自然環境に関する情報を報告する。
- ・1年を通じて自然環境に関する情報を募集するが、定期的にテーマを設定し依頼することで、事業への認知度を高める。(テーマの例：サクラ、アジサイ、紅葉、ツバキなど)
- ・募集期間中は一人何度でも情報提供できるようにし、積極的に参加した情報員を表彰する。

### 3 調査方法

情報員に**対して**登録するメールアドレスに配信するほか、随時、市ホームページやフェイスブックでも募集内容を掲載する。あわせて自然関係の活動をしている市民団体、エコプラザ西東京登録団体等にも参加を依頼する。

情報は、1. 見つけた植物(の変化)や生き物 2. 場所(市内) 3. 写真(任意) 4. コメントを環境保全課のメールアドレスやホームページの機能を利用して収集する。

### 4 効果検証

**環境保全推進**協議会で評価し、調査結果の検討や来年度以降の調査の規模などの検証を行う。

### 5 報告方法

- ・市ホームページ等で自然環境の情報、見頃情報などを発信する。
- ・市内観察マップを作成する。(自然のあるところなどのポイントを把握する。)

# エコライフ推進プロジェクト

～重点プロジェクト3 進めよう、地球温暖化対策！～

地球温暖化対策を進めるためには、市民や事業者の一人ひとりの行動が重要であり、それらを日常生活や事業活動の中で取り組むことが必要である。市民のエコライフを推進するために、どのような生活が効果的であるのか検証する。

## 1 参加者

- ・地球温暖化対策設備導入の助成金を交付した市民等
- ・電気・ガス・水道等のエネルギー使用量を市に報告できる世帯

## 2 実施内容

地球温暖化対策設備導入の助成金を交付した市民等に対しアンケート調査を行い、省エネに関する意識調査や省エネ設備導入のエネルギー使用状況を集計する。

## 3 支援内容（市が参加者に対する支援）

- ・二酸化炭素排出量の見える化
- ・取組を支援するための先進事例の紹介
- ・省エネアドバイザーの派遣（東京都の事業の活用）

## 4 効果検証

環境保全推進協議会で評価し、来年度以降の水平展開の可能性や改善点などの検証を行う。

参加者の  
省エネの実践

推進協議会での  
評価検証

## 5 検証後の展開

- ・市報やHPに公表する。
- ・検証結果を踏まえ、プロジェクトの拡大を検討する。

市としての方針決定  
新たな取組方向の検討